

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インド経済の弱点について」

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

インド経済の弱点として長く指摘されてきたのは主に以下の点です。

- ① インフラの未整備
- ② 製造業の未発達
- ③ 女性の社会進出の遅れ
- ④ カースト制度による差別
- ⑤ 大気・水質汚染

しかしながら、最近の状況を一つ一つ見ていくと、①については道路、鉄道、空港などの交通インフラや、電気、水道などの生活インフラの整備が目覚ましく進んでいます。

前回のメルマガでは、ベンガルール空港の第2ターミナルが、ユネスコから世界で最も美しい空港の一つに選ばれたことをお伝えしました。今回は以下に、今年の1月12日に開通したばかりのムンバイ湾横断道路をお見せします。地図では赤い線の部分です。（出所：ムンバイ都市開発庁、JETRO、外務省）



ムンバイと対岸の計画都市ナビムンバイを結ぶ 21.8 キロ、6 車線の海上道路です。構想から約 50 年、ムンバイ市民の夢が日本の協力により実現しました。両都市間の移動時間は 1 時間超から 20 分弱に短縮される見込みです。

ムンバイはもともと 7 つの島でした。その周りを数百年間に亘り埋め立て現在の半島部分ができ、それがこの横断道路で今回陸地に繋がりました。インドのインフラはこのようにドラスチックに改善しています。

次に②の製造業については、その GDP への寄与度が現在の約 15%から 2047 頃までに 30%を超えると、インド不動産協会などが予想しています。上記のようなインフラ整備の進展や外国製造業のインド進出の加速、そして急速な都市化の進展などが大きくインドの製造業を発展させそうです。インドが世界の工場になるのも夢ではなくなっています。

続いて③の女性の社会進出に関しては、昨年10月にインドの国会が下院と州議会の議席の33%を女性に割り当てる法案を可決したことなど進展が見られています。現在の下院の女性議員比率は15.2%ですので歴史的な出来事です。今後は仕事や教育に関しても女性の社会進出を後押しするような政策が取られると期待されます。

④のカーストによる差別は憲法で禁止されているため、都市部や大企業では目立ちません。また、ITなどの新しい産業は、カーストの分類外であるため、実力次第でその壁を乗り越えられる領域です。カースト制度は一つの秩序であるため簡単に無くなることはないにせよ、それによる差別は徐々に少なくなると思われま

す。最後の⑤については、次の写真をご覧ください。左はニューデリーの大気汚染、右がガンジス川の水質汚染です。海外メディアが好むインドの弱点です。



でも思い出してください。以下の写真（出所：東京都環境局）は1960～70年代の東京の空と隅田川の汚染状況を映しています。隅田川の花火大会は1962年から1977年まで、川の汚染と交通渋滞のため中断していました。日本経済が奇跡の二桁成長の真ただ中であつた時です。

成長国に環境汚染はつきものです。ですから、今のインドに環境にやさしく高成長しろというのは無理な注文です。欧米でもできませんでした。だからと言って2047年までに先進国入りを目指すインドが、このまま環境汚染を放置するとは思えません。きっとその改善に向けリーダーシップを発揮するはず



インド経済の弱点は克服されつつあります。他にも国境紛争や原油高などインドへの投資で留意すべき点はあるでしょう。しかし、今から始まりそうなインドの時代が私たち投資家にもたらすチャンスは、見逃すには余りも大きいと考え

お知らせ

好評発売中。インド株投資の前には一読ください。

